

平成23年中のサイバー犯罪の検挙状況等について

1 サイバー犯罪の検挙状況

(1) ネットワーク利用犯罪

ネットワーク利用犯罪検挙は5,388件（前年比+189件、+3.6%）で、過去最高を記録。[1 頁]

わいせつ物頒布等事犯検挙は699件（+481件、+220.6%）で、全国協働捜査方式の本運用により大幅な増加。

ネットワーク利用詐欺検挙は899件（-667件、-42.6%）で、詐欺防止対策の推進により、インターネット・オークション詐欺を中心に減少。

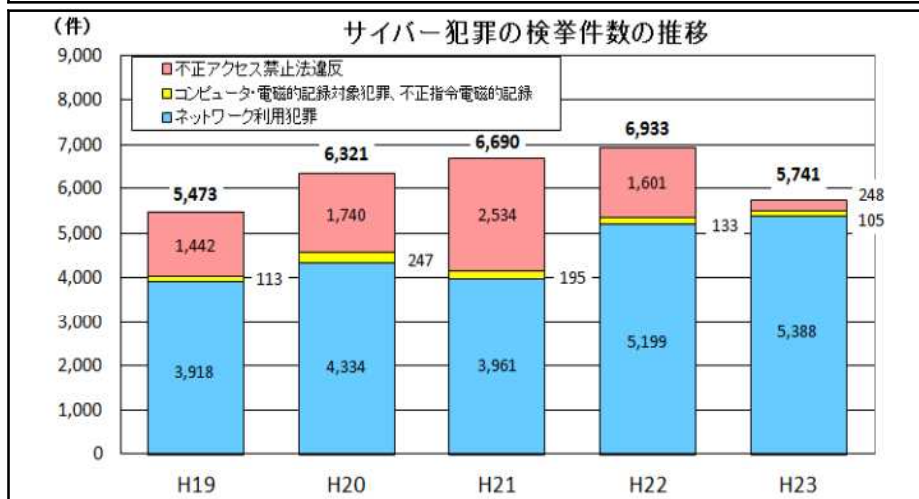
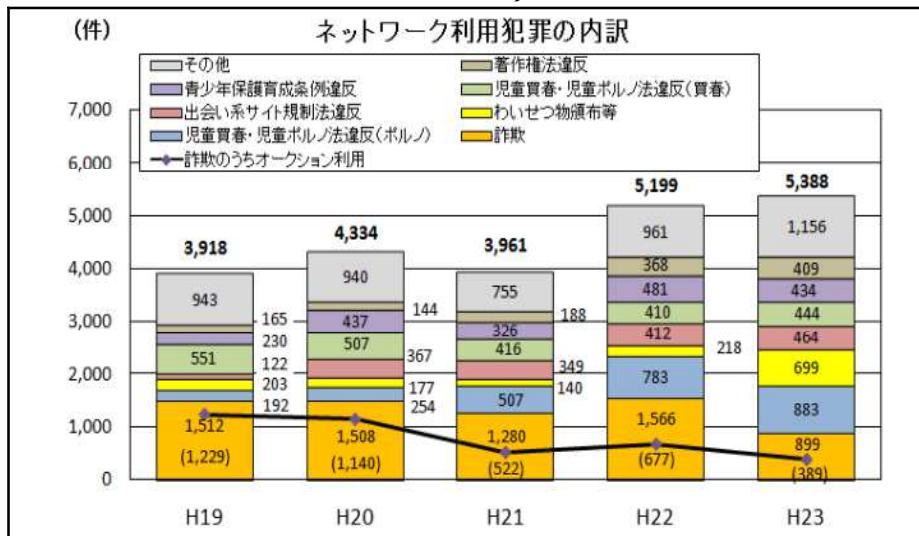
(2) コンピュータ・電磁的記録対象犯罪等

刑法に規定されるコンピュータ・電磁的記録対象犯罪及び不正指令電磁的記録に関する罪を対象とした犯罪検挙は105件（-28件、-21.1%）。

なお、刑法の一部改正により新設された「不正指令電磁的記録に関する罪（ウイルス罪）」検挙は3件。

(3) 不正アクセス禁止法違反

不正アクセス禁止法違反検挙は248件（-1,353件、-84.5%）と、大幅に減少（検挙事件数及び検挙人員は横ばい）。



2 サイバー犯罪等に関する相談状況

平成23年中に都道府県警察の相談窓口で受理したサイバー犯罪等に関する相談件数は80,273件（前年比+4,463件、+5.9%）。〔4頁〕

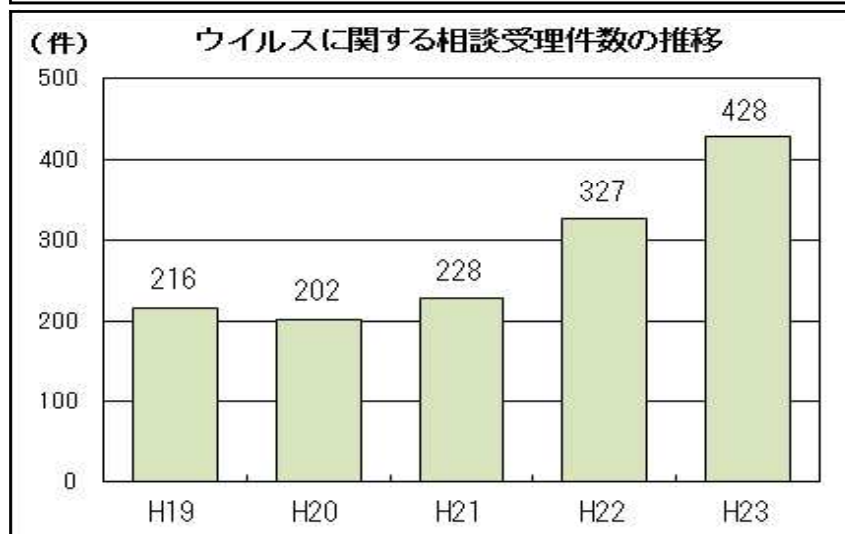
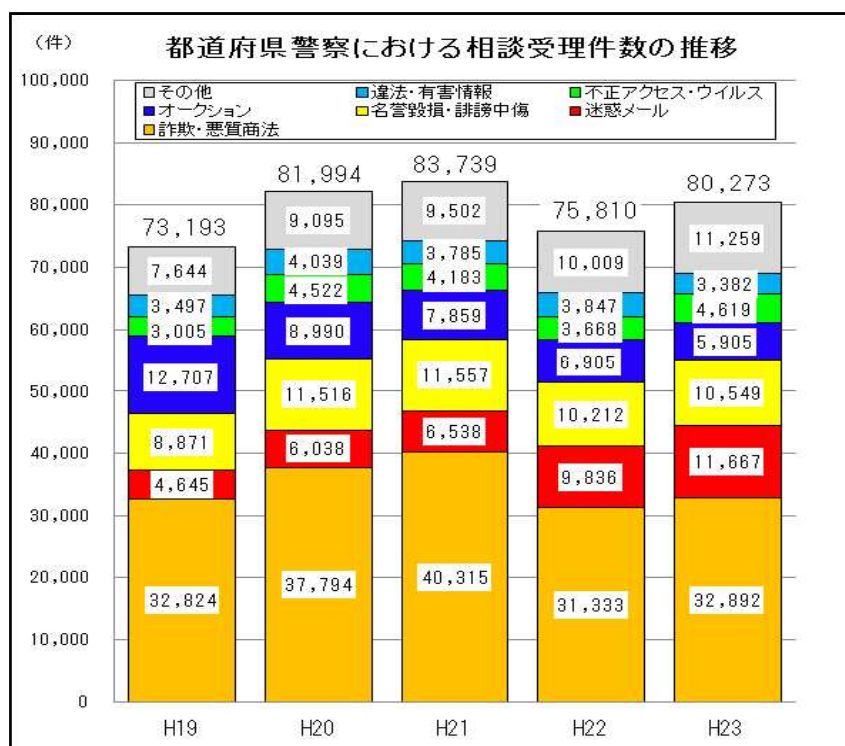
詐欺・悪質商法に関する相談は32,892件（+1,559件、+5.0%）。

迷惑メールに関する相談は11,667件（+1,831件、+18.6%）で、平成14年以降、増加傾向。

インターネット・オークションに関する相談は5,905件（-1,000件、-14.5%）で、平成17年をピークに減少傾向。

不正アクセス等に関する相談は4,191件（+850件、+25.4%）。

ウイルスによる被害に関する相談は428件（+101件、+30.9%）で、平成23年7月の改正刑法施行後、増加傾向。



3 インターネット上の自殺予告事案への対応

インターネット上の自殺予告事案について、平成23年中に都道府県警察がプロバイダ等から情報開示を受け対応した件数及び人数は、329件333人（前年比+49件、+45人）。〔7頁〕

(1) 認知の端緒

一般からの通報が193件（+53件、+37.9%）。

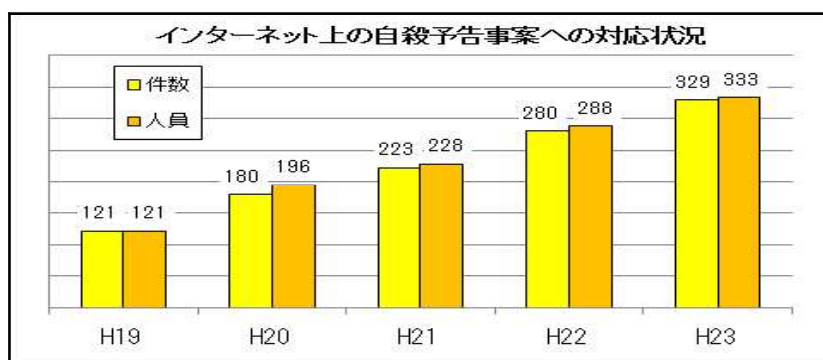
サイト管理者からの通報が100件（-1件、-1.0%）。

(2) 対応状況

自殺を図った者は20人、うち死亡者が5人、救護等により存命した者が15人。

存命した者のうち、警察官による発見、救護は8人。

自殺のおそれのある81人に対し、本人への説諭、家族への監護依頼等の自殺防止措置を実施。



4 今後の対策

(1) 取締りの強化

平成23年7月に刑法の一部改正により「不正指令電磁的記録に関する罪（ウイルス罪）」が新設されたことに伴い、本罪の積極的な事件化に向け、情報集約や分析、取締体制の整備を推進する。

不正アクセス事犯の取締りの強化及び不正アクセス防止対策を推進する。

平成23年7月から本運用した全国協働捜査方式により、インターネット上の違法・有害情報の取締りを推進し、定着を図る。

(2) サイバー犯罪に関する相談窓口の充実強化

不正アクセス事犯等の潜在化し易い事犯については、より早期に被害申告を受け付け、迅速かつ的確な取締りや被害抑止対策を行うため、サイバー犯罪相談窓口の体制整備と充実強化を推進する。

(3) インターネット上の自殺予告事案への迅速な対応

インターネット上の自殺予告事案に対しては、引き続きプロバイダ等の協力を得て、迅速な発信者の特定や保護、救助等自殺予防措置を推進する。

平成23年中のサイバー犯罪の検挙及び相談状況等について

第1 サイバー犯罪の検挙状況

1 検挙件数

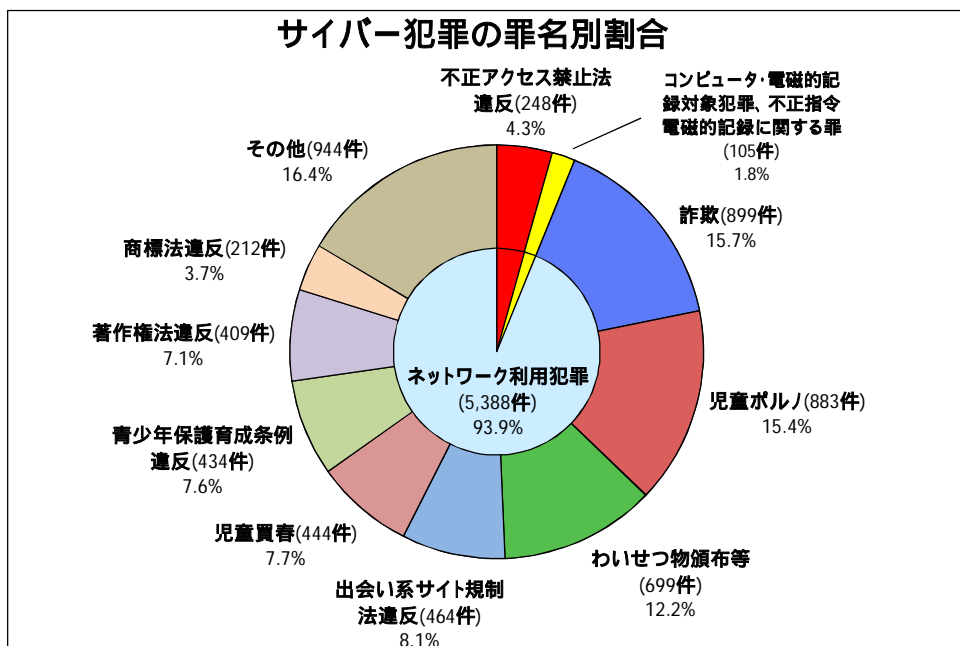
罪名	年					前年比増減	
	H19	H20	H21	H22	H23		
不正アクセス禁止法違反	1,442	1,740	2,534	1,601	248	- 1,353	(- 84.5%)
コンピュータ・電磁的記録対象犯罪、不正指令電磁的記録に関する罪	113	247	195	133	105	- 28	(- 21.1%)
電子計算機使用詐欺	74	220	169	91	79	- 12	(- 13.2%)
電磁的記録不正作出・毀棄等	34	20	22	36	17	- 19	(- 52.8%)
電子計算機損壊等業務妨害	5	7	4	6	6	0	(0.0%)
不正指令電磁的記録作成・提供					0		
不正指令電磁的記録供用					1		
不正指令電磁的記録取得・保管					2		
ネットワーク利用犯罪	3,918	4,334	3,961	5,199	5,388	+ 189	(+ 3.6%)
詐欺	1,512	1,508	1,280	1,566	899	- 667	(- 42.6%)
うちオークション利用詐欺	1,229	1,140	522	677	389	- 288	(- 42.5%)
児童買春・児童ポルノ法違反(児童ポルノ)	192	254	507	783	883	+ 100	(+ 12.8%)
わいせつ物頒布等	203	177	140	218	699	+ 481	(+ 220.6%)
出会い系サイト規制法違反	122	367	349	412	464	+ 52	(+ 12.6%)
児童買春・児童ポルノ法違反(児童買春)	551	507	416	410	444	+ 34	(+ 8.3%)
青少年保護育成条例違反	230	437	326	481	434	- 47	(- 9.8%)
著作権法違反	165	144	188	368	409	+ 41	(+ 11.1%)
商標法違反	191	192	126	119	212	+ 93	(+ 78.2%)
その他	752	748	629	842	944	+ 102	(+ 12.1%)
合計	5,473	6,321	6,690	6,933	5,741	- 1,192	(- 17.2%)

※ その他には、名誉毀損、脅迫、覚せい剤取締法違反等の薬物事犯、売春防止法、児童福祉法、犯罪収益移転防止法、薬事法等の違反がある。

※ ネットワーク利用犯罪の定義

犯罪の構成要件に該当する行為についてネットワークを利用した犯罪、又は構成要件該当行為でないものの、犯罪の実行に必要な不可欠な手段としてネットワークを利用した犯罪をいう。例えば、児童買春及び青少年保護育成条例違反については、ネットワーク上で連絡を取り合った者同士がネットワーク上において性交等に合意している場合に限って計上している。

2 サイバー犯罪の罪名別割合



3 平成23年中の主なサイバー犯罪検挙事例

不正アクセス禁止法違反

【不正アクセス禁止法違反、電子計算機使用詐欺】

被疑者（中古品買取業・男性・27歳）らは、平成21年9月から平成23年6月までの間、フィッシングにより他人のID・パスワードやクレジットカード番号等を入手し、クレジットカード会社のウェブサイト不正アクセスを行い、インターネットショッピング等において合計約1億円相当の商品をだまし取るなどした。

（6月・静岡、茨城、千葉、熊本、広島）

コンピュータ・電磁的記録対象犯罪

【電子計算機使用詐欺】

被疑者（会社経営・男性・32歳）らは、高額報酬・無料会員登録をうたい文句に会員を募り、会員登録希望者にクレジットカード情報を入力させ、実際には会員が有料会員登録の手続をしていないのに、サイト利用料金の決済を行った。

（12月・警視庁）

不正指令電磁的記録に関する罪

【不正指令電磁的記録保管】

被疑者（無職・男性・38歳）は、感染するとコンピュータが利用できなくなるコンピュータウイルスを、ファイル共有ソフトの利用者に感染させることを目的として、自宅パソコンにコンピュータウイルスを保管した。不正指令電磁的記録保管罪では全国初検挙。

（7月・警視庁）

ネットワーク利用犯罪

【詐欺】

被疑者（無職・女性・40歳）は、インターネット上の電子掲示板に、実際には所有していないのに、人気アイドルグループのコンサートチケットを販売すると虚偽の書き込みを行い、連絡してきた者らから代金をだまし取った。

（7月・千葉）

【詐欺】

被疑者（自営業・男性・44歳）は、インターネットショップに不正に入手した他人のクレジットカード番号入力して商品を購入し、インターネット上の闇サイトで募った共犯者（無職・女性・28歳）に商品を受け取らせ、それを自分宛に送付させた。

（11月・愛知）

【児童買春・児童ポルノ法違反】

被疑者（無職・男性・39歳）は、インターネットサイトでモデルとして募集した少女にわいせつな行為をした上、その状況をビデオカメラで撮影して児童ポルノを製造するとともに、製造した児童ポルノをインターネットを利用して販売した。

（9月・愛知）

【わいせつ画像公然陳列】

被疑者（会社経営・男性・35歳）は、アフィリエイト広告料を得るため、電子掲示板を運営し、他人が投稿したわいせつな画像を不特定多数の者が閲覧できるようにした。

また、インターネット・ホットラインセンターからの情報を元に、同電子掲示板等にわいせつな画像を投稿した者ら9名を検挙している。

（8月・兵庫）

【著作権法違反】

被疑者（無職・男性・47歳）は、テレビ放映された番組を受信して複写し、ファイル共有ソフトを使用して無許可で不特定多数の者に送信し、著作権を侵害した。警察庁のP2P観測システムを活用し、同種事件で47都道府県が一斉検挙。

（11月・警視庁）

【脅迫】

被疑者（無職・男性・37歳）は、インターネット上の複数の電子掲示板に、衆議院議員を名指しして「JR川崎駅のエスカレータの下で殺す」等と殺害の予告を掲載した。

（11月・神奈川）

【特定商取引法違反】

被疑者（会社役員・男性・38歳）らは、出会い系サイト運営会社が受信者が未承諾の電子メール広告を送信していることを知りながら、数千人分の電子メールアドレスデータを販売した。

（7月・警視庁）

【割賦販売法違反】

被疑者（無職・男性・31歳）は、飲料水を販売するインターネットショップを装うウェブサイトを開設した上、飲料水を販売するとの虚偽の広告を行い、注文した者にクレジットカード番号やセキュリティコード等を提供させた。

（11月・警視庁）

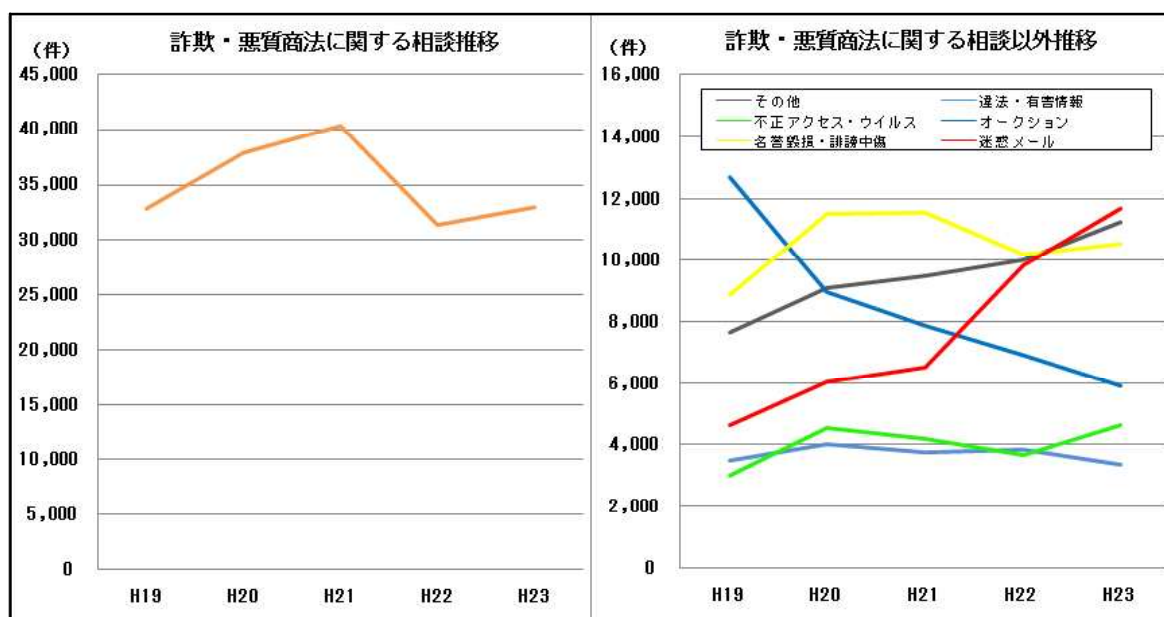
第2 サイバー犯罪等に関する相談状況

都道府県警察のサイバー犯罪相談窓口等に寄せられたサイバー犯罪等に関する相談の受理件数は次のとおり。

1 相談受理件数の推移

(単位：件)

	H19	H20	H21	H22	H23	増減	
詐欺・悪質商法に関する相談 (インターネット・オークション関係を除く)	32,824	37,794	40,315	31,333	32,892	1,559	5.0
架空請求メール	10,910	22,015	25,856	11,046	8,249	-2,797	-25.3
不当請求メール	9,878	7,938	6,771	6,112	7,621	1,509	24.7
迷惑メールに関する相談	4,645	6,038	6,538	9,836	11,667	1,831	18.6
名誉毀損・誹謗中傷等に関する相談	8,871	11,516	11,557	10,212	10,549	337	3.3
インターネット・オークションに関する相談	12,707	8,990	7,859	6,905	5,905	-1,000	-14.5
不正アクセス、コンピュータウイルスに関する相談	3,005	4,522	4,183	3,668	4,619	951	25.9
不正アクセスによる被害、ネットワークセキュリティに関する相談	2,789	4,320	3,955	3,341	4,191	850	25.4
コンピュータウイルスによる被害に関する相談	216	202	228	327	428	101	30.9
違法・有害情報に関する相談	3,497	4,039	3,785	3,847	3,382	-465	-12.1
その他	7,644	9,095	9,502	10,009	11,259	1,250	12.5
合 計	73,193	81,994	83,739	75,810	80,273	4,463	5.9



2 主な相談事例

(1) 詐欺・悪質商法に関する相談

利用した覚えのないサイトの利用料金や法外な利用料金を請求するメールが届いた。

ホームページを閲覧していたとき、突然、利用料金を請求する旨の画面が表示された。

電子掲示板の広告を見て、コンサートチケットの購入を申し込み、代金を支払ったが、商品が送られてこない上、相手方と連絡が取れなくなった。

ネットで副業サイトを探していたところ、メールのやり取りをするとお金が稼げるというサイトを見つけ登録した。その後も登録料やメールの文字化け解除料等を理由にいろいろとお金を請求された挙げ句、収入を得ることはできなかった。

(2) 迷惑メールに関する相談

占いサイトや懸賞サイトに登録したところ、出会い系サイトから頻繁に勧誘メールが届くようになった。

自宅パソコンに「電話を下さい。」と電話番号が記載された不審なメールが届いた。

「10時間以内に20人にこのメールを回さなかったら、あなたに不幸が訪れる。」旨のチェーンメールが届いた。

東日本大震災に関して、義援金の募集や原発関連等に関するチェーンメールが送られてくる。

(3) 名誉毀損、誹謗中傷等に関する相談

掲示板に自分を誹謗中傷するような内容が書き込まれている。

掲示板に自分の氏名やメールアドレスとともに、異性交際を誘う書き込みがあり、見知らぬ人からたくさんのメールが届いた。

掲示板に自分の写真が掲載され、サイト管理者に削除依頼と写真を投稿した者を特定したいが、どうすればよいか。

(4) インターネット・オークションに関する相談

オークションでコンサートチケットを落札し、代金を振り込んだが商品が送られてこず、出品者とも連絡が取れなくなった。

オークションでシステム手帳を出品し落札されたので、相手方に送ったが、落札代金を振り込んで貰えない。

オークションで電化製品を落札したが、配送された電化製品が故障しており、相手方に対応を求めたが何もしてくれない。

(5) 不正アクセス、コンピュータ・ウイルスに関する相談

【不正アクセス】

自分のオンラインゲームのアカウントが乗っ取られ、ゲーム内の通貨やアイテムが盗まれた。

電子マネーのサービスを利用していたが、何者かに勝手に引き出され、運営会社に確認したところ、不正アクセスの被害に遭っていた。

インターネットバンキングのID、パスワードが不正に使用され、見ず知らずの人の口座に送金されてしまった。

【コンピュータ・ウイルス】

パソコンを操作していたところ、ウイルス対策ソフトが起動しウイルスが検出された。

アダルトサイトにアクセスしたところ、突然、高額な料金を請求する画面が立ち上がり、パソコンの電源を落としても、この画面が再度立ち上がって消えない。

(6) 違法情報、有害情報に関する相談

動画投稿サイトに特定の番組を違法アップロードしている者がいる。

無届けの出会い系サイトと思われるサイトがある。

規制薬物や未承認医薬品等、偽ブランド品等の違法商品を販売しているサイトがある。

(7) その他

子どもが誤って有料サイトに登録してしまったが、どのように対処すれば良いか。

ネット上のブログに、自動車の運転中に運転席から撮影したと思われる写真を掲載している者がいるが、危ないので注意できないか。

自殺を予告するような書き込みがされている。

第3 インターネット上の自殺予告事案への対応

1 認知の端緒

通報者	H19	H20	H21	H22	H23	増減
本人	17件	15件	13件	13件	16件	3件
一般	58件	92件	99件	140件	193件	53件
サイト管理者	20件	47件	74件	101件	100件	-1件
インターネット・ホットラインセンター	5件	8件	4件	5件	1件	-4件
その他	21件	18件	33件	21件	19件	-2件
合計	121件	180件	223件	280件	329件	49件

その他には、行政機関、教育関係機関、警察がある。

2 対応状況

	H19	H20	H21	H22	H23	増減
自殺により死亡	0人	7人	2人	11人	5人	-6人
自殺を図ったが、救護等により存命	9人	3人	9人	14人	15人	1人
自殺のおそれあり(説諭等実施)	63人	92人	78人	89人	81人	-8人
自殺のおそれなし(いたずら等)	33人	74人	104人	128人	167人	39人
書込者が判明せず	16人	20人	35人	46人	65人	19人
合計	121人	196人	228人	288人	333人	45人

3 平成23年中の主な自殺予告事案に対応した事例

【ライブ配信を利用した自殺予告事案へ対応した例】

A警察は、ライブ配信サイトで服薬自殺を中継しているとの通報を受け、サイト管理者等に対する緊急照会を実施し、判明した中継者宅を訪問し、中継者の安否確認を行った結果、室内で睡眠薬を多量に服用し意識朦朧とした中継者を発見し保護した。

【自殺を図った直後に発見し保護した例】

B警察は、コミュニティサイトに自殺をほのめかす書き込みがあるとの通報を受け、サイト管理者等に対する緊急照会を実施し、判明した契約者情報からC警察管内の書込者を特定し、C警察に対して書込者の保護依頼を行った。保護依頼を受けたC警察は、書込者宅を訪問し安否確認を行った結果、睡眠薬や精神安定剤を多量に服用した書込者を発見し保護した。